

3 区の産業振興における基本方針

区はコーディネーターとして、区民とともに事業者を支えます。「みどりの風吹くまちビジョン」に掲げたリーディングプロジェクトを中心に据え、以下の視点・考え方をもとに産業振興に取り組みます。

(1) 72万人の人口が持つ活力を活かす

練馬区は72万人の人口を擁する住宅都市であり、一大消費地です。この人口規模を区内消費につなげる取組が必要です。また、区民の創業意欲を高め、区内産業を担う人材を増やし、産業振興につなげます。

(取組の方向性)

- ・ 区民に加え、近隣自治体の住民や在勤者を消費者、顧客として獲得するために行う事業者の創意工夫・努力を支援します。
- ・ 創業や起業を促進し、練馬区の産業を担う人材を広く育成・支援します。
- ・ 練馬区の特徴ある産業である農業、アニメ等の技術やノウハウを受け継ぐ人材の育成を支援します。



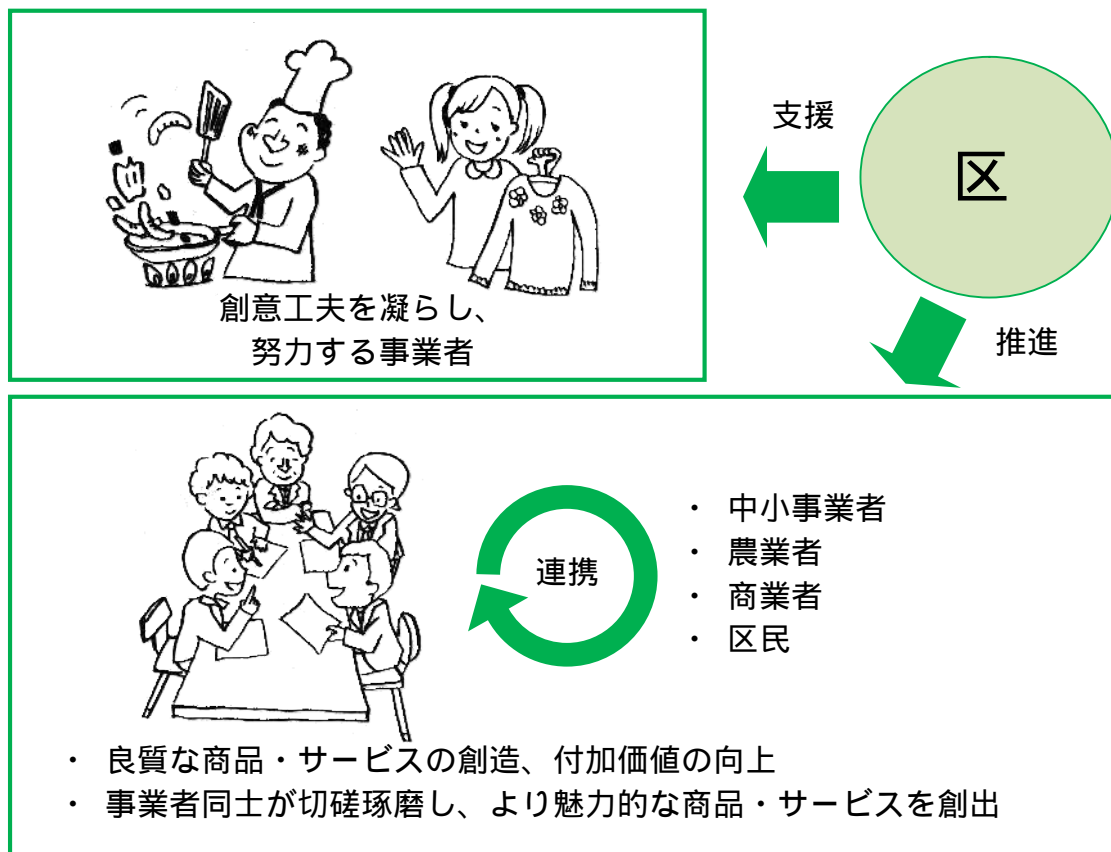
(2) 事業者の強化と連携を推進する

事業者が、良質な商品・サービスを消費者に提供し続けることが、事業者自身の経営の安定につながり、区内産業を発展させることとなります。区では、創意工夫を凝らし、日々努力する事業者を優先的に応援します。

また、事業者同士が連携することにより、商品開発等のヒントを掴むことができ、新たな商品・サービスや付加価値を生み出すことにつながります。さらに事業者同士が切磋琢磨することで、より魅力的な商品・サービスが生まれ、区内産業の活性化が期待されます。

(取組の方向性)

- ・ 事業者の顧客獲得、商品等の販売機会を増やすための販路拡大への取組を支援します。
- ・ 事業者の成長、新しい挑戦を支援する機会や体制を充実します。
- ・ まち全体の特色をつくり、地域のブランド力を高めるため、商店街同士が連携を図り、新たな魅力や価値が生まれるよう支援します。
- ・ 新たな商品・サービスや付加価値が生まれるよう、事業者同士が連携する仕組みづくりを進めます。



(3) まちづくりと連動して産業振興を推進する

まちづくりの実施は、産業振興にとっても大きなチャンスです。道路や鉄道などの整備とともに進めるまちづくりによって、人口の構成、車や人の流れ、土地の利用が変化するとともに、周辺地域とのネットワークも強化されます。この機会をとらえて、新たな産業振興につなげていくことが大切です。

(取組の方向性)

- ・ まちづくりは、まちの姿をより良いものへと大きく変えていくものです。こうした変化を契機とした商店街の再生や地域資源の創出など産業振興に資する取組を検討します。
- ・ 都営地下鉄大江戸線延伸による新駅予定地を始め、駅の周辺は生活の拠点として都市生活を支えるサービス施設等の充実を図ります。こうした施設等の立地にあわせて、地域特性に応じた産業振興を図っていきます。
- ・ 都市農地を保全・創出していくため、制度改正や財源等の支援を国・東京都等に要望するとともに、農の持つ魅力を活かしたまちづくりを進め、都市農業の振興や農を活かした産業振興を図っていきます。

今後想定されている代表的なまちづくり

